キャラクター名
天城寺 羅夢惰

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン ブラム＝ストーカー	ワークス	ヒーローB	カヴァー	天城寺「Λ」
オプショナル	ブラックドッグ	年齢	32?	性別	男
覚醒	死	衝動	破壊	初期侵食率	39 %
出自	研究者	経験	大事故	邂逅	死者

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1		0			1
感覚	2	1	0			3
精神	4		0			4
社会	1		0			1

HP	26
行動値	10
(非装備時)	10
戦闘移動	35
全力移動	70

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	3		ＲＣ	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：ヒーロー	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ポップンビー	射撃	4r+2		4		ヒーローズクロス所持時与ダメ時対象の次の判定-5D
↑エンチャント		0				C:ノイマン使用時+2D
ストライクチップ	射撃	4r+3		7		マイナー使用時+2D
↑エンチャント		0				マルチウェポン使用時+2D

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
ヒーローマント		3	-1		戦闘移動+10m

合計装甲：	3	合計回避：	-1

所持品	
ウエポンケース：ポップンビー	
ウエポンケース：ヒーローブレイザー	
コネ：ヒーローマニア	
コネ：手配師	
エクスプローラーズブーツ	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
機械化兵	P	N		
ヨモツイクサ	P 好奇心	N 敵愾心		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
イオノクラフト	1	1	マイナー	至近	自身	自動		
効果： 戦闘移動+[Lv*2]m								
メカニカルアクション	1	2	マイナー	至近	自身	自動		
効果： エフェクト以外の行動1つ可能								
C:ノイマン	2	2	メジャー			シンドロ		
効果： C-Lv								
マルチウェポン	4	3	メジャー			シンドロ		
効果： 射撃武器を2つ使用可能達成-[5-Lv]								
災いの紅	2	2	メジャー			射撃		
効果： 命中時シーン中装甲-[Lv*3] HP3失う								
死の紅	2	2	メジャー			射撃		
効果： 与ダメ時シーン中G-[Lv*3] HP2失う								
アームズリンク	4	2	メジャー			射撃		
効果： +[Lv]D								
冥府の棺	1	2	オート	至近	自身	自動		
効果： バステ1回復								
磁力結界	2	3	オート	至近	自身	自動		
効果： G+LvD								
ショート	★		メジャー			RC		
効果： 電源を必要とする機械を破壊する								
代謝制御	★		常時			意志		
効果： 代謝機能を制御する。								
裸の王様	1		常時			自動		
効果： [Lv*10]体のエキストラ従者がいる								
効果：								

「おやおや。おやおや。」
「私はこれでも戦えますよ。貴方達ほどじゃないですけどね。」
「あらゆるものは破壊の後に創造される。さて、どう壊れてくれますか？」

言動が紳士的で常にヒーローの行動に肯定的な天城寺「Λ」。
しかし、監督官である以上行き過ぎた行為はちゃんと咎めて指導する。
そのため、多くのヒーローからは天城寺でも制約が多い天城寺として評価は賛否分かれている。
少なくても協会からすればヒーローの暴走を防いでくれる分頼もしいと言えばそうなのだが。
そして必要がなくともヒーローと同行するようにしている。本人曰く、「監督官として現地に赴くのもまた仕事ですよ。」

しかし、本音はヴィランに限らずあらゆるオーヴァードが破壊される時の瞬間を見たいだけである。
肉体、精神、物体、あらゆるものが破壊される瞬間を楽しみとしているサイコパス。
多少の危険は「むしろヒーローが壊れる瞬間が見れる」と思い自己責任と口先だけで通している。

本人も破壊を楽しむため、種類の異なる銃を駆使して戦う。
異なる性質の銃を持っているのはそれぞれの手になじむ銃が自然と違う銃だっただけであり、
大抵の片手持ちの銃なら何でも扱えるらしい。